

地域公共交通の整備

高齢者などに配慮した「利用しやすい移動手段の確保」や「公共交通空白地域の解消と身近な地域公共交通の確立」をめざし、買い物や通院、高校生の通学の利用も視野に入れ、町が所有しているバスの有効利用を考えながら、新冠町全体の公共交通体系の整備について検討を進めてまいります。



地域と市街地を結ぶ健康推進バス

教育の充実

幼児期から連続性のある教育を推進するとともに、信頼される学校づくりや確かな学力の育成、豊かな心の育成や学校経営の改善・充実など



幼稚園教育が導入された認定こども園ド・レ・ミ

をはかり、次世代を担う子どもたちのために、教育環境の整備・充実に努めてまいります。

また、町民が生涯にわたって、主体的に学ぶことができるよう、レ・コード館を拠点施設に、生涯学習の充実をはかるとともに、青少年の健全育成や町民の健康増進を目指した生涯スポーツ、郷土・芸術文化など生涯教育の充実を支援し、学校・家庭・地域社会が一体となり、オール新冠として「人づくり」に取り組んでまいります。

いきいきとしたまちづくり

産業振興と担い手育成

いきいきとしたまちをつくるには、産業振興とそれに関わる担い手の育成が不可欠であります。

本町の基幹産業であります農業におきましては、軽種馬や畜産、酪農そ菜生産を新冠町農協と連携し、農家所得の向上を図るため、第5次新冠町農業振興計画に基づく各種取り組みを進めます。

中でも、新規就農者による担い手の拡充と後継経営者の育成や、地域及び農業委員会との連携による「人・農地プランを活用した積極的な農地の流動化と集積化」を図り、生産性の高い農業を目指してまいります。

漁業振興

つくる漁業を積極的に推進し、漁家所得の向上を図るため、今やサケ定置漁に次ぐ漁獲高を上げております「タコ漁」の安定化のため、稚ダコ保育礁設置事業を継続して支援するとともに、コンブ礁の造成や、ナマコ種苗放流事業への助成も行ってまいります。



次世代の農業を支える農業支援員

加えて、これらの取り組みを、より高めるためには、生産物の付加価値の創造と地場産品の直売所開設、さらには、町内の商工業者と連携し、加工や調理などを行う地域産業の6次化などを推進してまいります。

また、観光協会とも連携し、町内の魅力を発信し、交流人口を拡大させ、全道、全国の多くの方に新冠にお越しいただき、町内での消費拡大を図る取り組みを推進してまいります。

次に、商工業の振興であります。商工会、建設協会の協力を得ながら、民間賃貸住宅の整備促進や、異分野への進出を支援し、経営の安定化と担い手育成を推進してまいります。

むすびに

自治体は、いつの時代にあっても、また、どの地域にあっても、その内容に違いはあるものの多くの課題を抱えています。

本町におきましては、行政運営にかかわった先達の誰もが、ときに早足で、ときに着実な前進によって困難を乗り越え、自治の歴史を重ねてこられました。

今を生きる私たちも、新しい時代を綴るため、決してあきらめることなく、町民の皆様と手を携え、英知を結集し、挑戦を続け、課題を克服していく所存であります。

そして、この町で大切に育まれてきた「人と人との絆」「助け合い」「地域を愛する心」を次世代へ繋いでいかなければなりません。

どうか、町民の皆様並びに議会の皆様には、今後の町政運営に格段のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。三期目の就任にあたりましての所信表明とさせていただきます。

副町長に中村修二氏選任



新たに選任された中村副町長

5月10日、第2回臨時会において、村田 洋副町長の後任に、新冠町役場総務企画課の中村修二氏の選任が提案され、満場一致で承認されました。

中村副町長は、昭和28年11月30日生まれ、新冠町出身。昭和53年に新冠町職員となり、社会教育課長、総務企画課長などを歴任し、平成25年4月からは総務企画課参事兼行政改革担当として勤務されてこられました。



退任のあいさつをする村田前副町長

中村副町長は臨時会の就任挨拶で、「責任の重さを痛感し、身の引き締まる思い。職員一人一人が能力を存分に発揮できる職場づくりにつとめ、重責を果たしたい」と抱負を述べました。

また、これまで副町長として町政の発展にご尽力いただきました村田前副町長は、同日、任期満了を迎え退任することとなりました。

村田前副町長は、平成17年3月に新冠町役場退職後、同年5月に新冠町助役に就任、2期8年にわたり小竹町長の補佐役・相談役として重責を担い、町職員時代に培った圧倒的な知識と経験を基に、その手腕を遺憾なく発揮されてこられました。

村田前副町長、長い間お疲れさまでした。